

海を越えて、中央大学の桜 台湾で友好の植樹祭開催

台湾・台北で二月二十二日、中央大学と「中央大学學員日華友好会」による「友好の桜植樹並びに記念碑除幕式」の式典が開かれた。一

九九九年、中央大学が大戦時の台湾からの学生に対する「特別卒業証書授与」を行ったのを機に友好の輪が広がり、大学からは外間寛

総長らが出席して盛大な式典となった。



「友好の桜」の記念碑を囲んで。左端・外間寛総長

「特別卒業証書授与式」が台北市で行われたのは99年3月である。戦時下、学徒動員によって学舎を離れ、学問の志半ばで戦後復学ができなくなった台湾からの中央大学生に対するもので、対象者は七十歳代後半の約二十人の先輩た

ちだった。

感動的なその式典がきっかけとなり、その後日本から出席した學員(卒業生)を中心に中央大学學員日華友好会が結成され、台湾同学会(台湾在住の學員)をはじめ、さらに広い台湾との交流が始まった。台湾の中部大地震やSARS(重症急性呼吸器症候群)の被害に対する見舞い等が続ける中で友好のシンボルとして日本の桜を台湾に咲かせようではないかという構想が具体化した。

植樹地は当面、日本側が強く希望した、日本人だけでも年間七十万人近くが訪れる台北市の有名な觀光スポットの国立中正紀念堂に決定。友好会は、3年がかかりで準備を進め、この日、

中正紀念堂で「友好の桜植樹並びに記念碑除幕式」の運びになった。

式典には、大学から外間寛総長、三宅邦彦常任理事、事務局幹部、友好会からは長田繁会長、學員会の澤幡副会長をはじめ総勢七十人が出席。台湾側から同学会陳賢賢会長ら多数の會員に加え、旧正月で帰省中の現役留學生、さらに複数の政府要人も出席し、盛大な式典となった。

対して感謝状と記念品が贈られた。

プログラムの中では、友好会が昨年秋の台風で甚大な被害のあった泰雅族の小学校へ楽器と奨学金を贈呈し、それに対し児童たちが答礼の伝統音楽が演奏されるなど民族、世代を越えたあたたかい交流風景がみられた。児童らの小学校にも来春桜が植えられることになる。

特に国交が無くなった後、大使館に代る機関である財団法人交流協会の内田勝久台湾所長(元カナダ・シンガポール大使)、中華民国行政院長(総理)、教育部長(文部大臣)を歴任した李煥氏、現總統府資政で駐日代表もつとめた許水徳氏から心のこもった祝辞が述べられた。

この夜は台湾の小正月のお祝いにならない、中正紀念堂が用意してくれた七百個の提灯(フンタン)の点灯式、地元小学校のドラゴン舞を皮切りに祝宴に移った。ご馳走を味わいながら、カラオケや福引に興じた後、一

また中央大学を代表し、外間総長から植樹祭に至るまでの台湾側特別協力者に



右から、植山良さん、土田好彦さん、奥野真規子さん、後藤利沙さん

は出場し、300の予選を勝ち抜いた9チームが当日全国9エリアごと385チームの中、21%を見込んでおり、初期投資額1763万円の回収も31カ月で可能として

は、〈駅ナカレンタルブック「KARIREL」〉。学生やビジネスパーソンを主対象にして、狙いは「利益を出すこと」。経常利益58万円（売上高経常利益率21%）を見込んでおり、初期投資額1763万円の回収も31カ月で可能として

た「第1回学生のための国際ビジネスコンテスト・OVAL2005」で、中央大学商学部1年（現2年）、菅野光憲さんのチームが見事優勝に輝いた。「OVAL2005」は日本、中国、韓国の各国1人ずつの

も他大学の5人とともにグランプリを獲得している。

「駅ナカ（中）に、貸し本屋を作ろう！」
中央大学商学部生チーム
「ねこ」（植山良、奥野真規子、後藤利沙、土田好彦）

のアイデアが、2月11日、有楽町東京国際フォーラムで行われた「大挑戦者in東京」（ドリームゲート主催・経済産業省後援）のビジネスアイデアコンテスト「ドリームゲートグランプリ」で、見事優勝を果たした。4人はいずれも商学部3年生（現4年）。

客層、最終的な利益に至るまでを熱意をもって来場者にプレゼンを行った。

2月21日〜27日開催された「第1回学生のための国際ビジネスコンテスト・OVAL2005」で、中央大学商学部1年（現2年）、菅野光憲さんのチームが見事優勝に輝いた。「OVAL2005」は日本、中国、韓国の各国1人ずつの

3人1チーム制で、英語によるコミュニケーションを通してプランニング・発表を行うコンテスト。菅野さんは昨年夏の「第9回学生のためのビジネスコンテスト・KING2004」でも他大学の5人とともにグランプリを獲得している。

商学部チーム「ねこ」が日本一のグランプリ ビジネスアイデアコンテストで絶賛、事業化も

同中央大学校歌を歌い、大いに同窓意識を高揚させた。フイナールは外間総長を先頭に、全員が提灯行列を行

い、想い出深い一連の催しを終えたのである。友好会では、台湾各地に千本の桜を植え、さらに台

湾との友好増進を図つていく計画を立てている。（松本或彦 昭38年法学部卒）

る。試運転店舗建設予定地であるJR横浜線淵野辺駅北口もJR東日本キヨスクの了承済み。

木・新宿などでアンケート調査も行った。本腰を入れた取り組みと、このビジネスモデルによって私たちの生活がより快適になることへの確信が、頂点へとつながった。

またSUICAからの個人情報に基づき会員カードを作るといった新しさがアピールポイントとなり、専門家からも高い評価を受けた。4人は、貸し本業が浸透する韓国への調査や、六本

このプランは、04年12月に開催の中大ゼミ連主催・日経ビジネス協賛の「第1回商学部ビジネスアワード」でも最優秀賞を獲得している。（学生記者 津江瞳 文学部2年）

国際ビジネスコンテストでも 商学部生がみごと準優勝！